

事前配布版（2017.4.3）

# 第40回 全国建築板金競技大会

課題 及び 審査基準（抜粋）

## <建築技術の部>

平成30年2月24日（土）・25日（日）

静岡県富士宮市「富士教育訓練センター」

一般社団法人日本建築板金協会  
全日本板金工業組合連合会

# 第40回 全国建築板金競技大会

## 建築技術の部 課題

平成29年4月3日出題

◇下記に示す条件に沿って、施工図を作成しなさい。

### 1. 競技時間

施工図作成：4時間

※図面作成に要する競技時間

### 2. 支給する材料

品名	数量	寸法・規格
セクションペーパー	2枚	A2(594mm×420mm) コクヨ ホー17N

### 3. 仕様

- 当日支給するセクションペーパー (A2版 594×420 mm) 2枚に、描いていただきます。
- 描く内容については1枚目、2枚目の指定はありません。

カタログや文献等の資料の持ち込みを一切禁止します。

ドラフターやパソコン類・電子辞書(辞書)の、競技会場への持ち込みも一切禁止します。

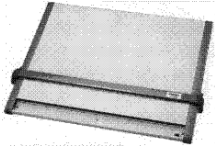
また、競技中のPDA(携帯情報端末…スマートフォン等含む)使用は禁止します。

製図板・T定規・テンプレート等への書き込み等は一切禁止します。

### ◎本年度課題の趣旨説明

- ・ 今回は、美容室兼住宅の新築工事です。  
金属屋根・金属外壁とも自社で施工します。工務店が下地は作ってくれますが、下地を含めた各要所の納まりと、詳細を教えて欲しいとの事で、施工図面を描いていただきます。
- ・ 「責任施工保証制度」の正しい理解を促し、保証書の発行を前提とした施工図を作成していただきます。
- ・ 製図の基本を知るという観点から、線の種類、寸法の描き方について製図総則(JIS Z 8310)並びに建築製図通則(JIS A 0150)に基づいて正しい施工図を作成していただきます。
- ・ 保証書の発行が前提となりますので、全日本板金工業組合連合会発行の冊子「建築板金施工法—金属屋根施工篇—」の要領に基づいて描いてください。

#### 4. 選手が持参するもの(※は使用禁止なもの)

品 名	備 考
製図板 または 平行定規	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>会場では準備しておりませんので必ず持参して下さい。</u></li> <li>● 製図板を傾けるための台は認めます。</li> <li>● 平行定規は使用できます。</li> </ul>  <p>(平行定規付き製図板の例)</p>
T 定 規	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>会場では準備しておりません。</u></li> </ul>
製図道具一式	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 選手各自、持参して下さい。</li> </ul>
※ドラフター類	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>使用できません。</u></li> </ul>
電 卓 類	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 使用できます。</li> <li>● 関数計算機能付電卓使用は可とします。</li> </ul>
※パソコン類	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>一切使用できません(PDAタイプ、タブレット類などを含む)。</u></li> </ul>
マスキングテープ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 図面押さえ用</li> </ul>
服 装	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 作業に適した服装を準備して下さい。</li> <li>● 作業帽子を支給します(自前の帽子は使用不可)。</li> </ul>

## 5. 会場で準備・配布するもの

品名	数量	備考
課題冊子	1	• <u>当日再配布します。持参した課題冊子は使用不可。</u>
セクション ペーパー	2枚	• A2 (594×420 mm) コクヨ ホー17N
タイトルシール	2枚	• ゼッケン番号、作図者、図面タイトルなどの記入用 • タテ 66 mm × ヨコ 144 mm
作業帽子	1	• 自前の物は使用不可。上着は支給しません。

## 6. 審査基準

- 5ページからの「審査基準（抜粋）」をご覧ください。

## 7. 道具の送付について

道具類を事前に送付する際は諸事項を明記し、開会式前日に届くようにしてください。

(現地便数の都合で、当日着指定は間に合わない場合があります)

〒418-0101 静岡県富士宮市根原 492-8 「富士教育訓練センター」

TEL : 0544-52-0968 FAX : 0544-52-1336

**「富士教育訓練センター 気付 日板協 ○○・○○○○ (組合・氏名)」**

※大会当日に届いた道具類については選手自身で事務所から 8 号教室へ運搬していただきます。

## 8. 課題に対する質問

- 課題に対する質問等がありましたら、日板協事務局まで書面にてお申し出下さい。

FAX : 0 3 - 3 4 5 6 - 2 7 8 1 E-mail:zenban-g@zenban.jp

※ 1. 質問は出来る限り具体的に記述してください。

2. 質問内容の確認を行う場合がありますので、連絡先を明記して下さい。

- 質問の受け付けは平成 29 年 12 月 8 日 (金) 17 時到着分までとします。
- 質問受付期日を過ぎた質問に対しては、いかなる場合でも回答は出来ませんのでご注意ください。また、大会当日の質問又は異議申し立ては受け付けておりません。

以上

**第 40 回全国建築板金競技大会 【建築技術の部】 審査基準（抜粋）**

(1) 採点の方法

採点の方法は得点法を用い、図面①、②の合計 500 点を満点とする。  
高得点者をもって上位者とする。

(2) 採点項目及び配点

		採 点 項 目	得 点
図 面 番 号  ① ・ ②		全体（バランス・図面の汚れ・総合）	100
		完成度（必要な箇所が描かれているか）	100
		納まり（不具合のない納めになっているか）	100
		仕様（使用材料の選定に問題がないか）	50
		寸法（正しく記入されているか）	50
		線（正しく記入されているか）	50
		文字（正しく記入されているか）	50
		<b>合 計</b>	<b>500</b>

(3) 失格事項

次の項目に該当した者は失格とする。

- 1) 競技中、不注意等により他人にケガをさせた場合。
- 2) 競技の途中で不正行為により退場を命じられた場合。
- 3) 使用を禁止されている道具等の使用が判明した場合。

(4) その他

採点については、審査基準によることを原則とするが、採点項目以外の事項で不適切と認められる事項があった場合には、採点用紙に当該事項を明記しておき、競技終了後審査委員が合議して減点するか、否かを決定する。

減点する場合は、審査基準に示す採点項目との均衡を考慮して、減点数を決定するものとする。

## 【建築技術の部 課 題】

### 問 題

今回の課題は、美容室兼住宅の新築工事です。

屋根外壁工事における板金納め各部の施工図を描いてください。

建物は木造建築物です。

準防火地域の建物ですので、外壁の納まりについては防火構造を考慮して提案してください。

屋根は片流れ立平ぶきガルバリウム鋼板  $t=0.4$  です。

壁も立平ぶきガルバリウム鋼板  $t=0.4$ 、一部ラスモルタル吹付塗装(別途工事)です。通気構法は考慮しなくても構いません。

破風・鼻隠し等役物はガルバリウム鋼板  $t=0.4$  で加工して取付けてください。

内樋は耐酸被覆鋼板  $t=0.4$  で施工し、縦樋のサイズは排水量を考慮して決めてください。(降雨量は  $120 \text{ mm/h}$  の地区です。)

今回、施工図面で納まりを知りたい箇所は以下のとおりです。

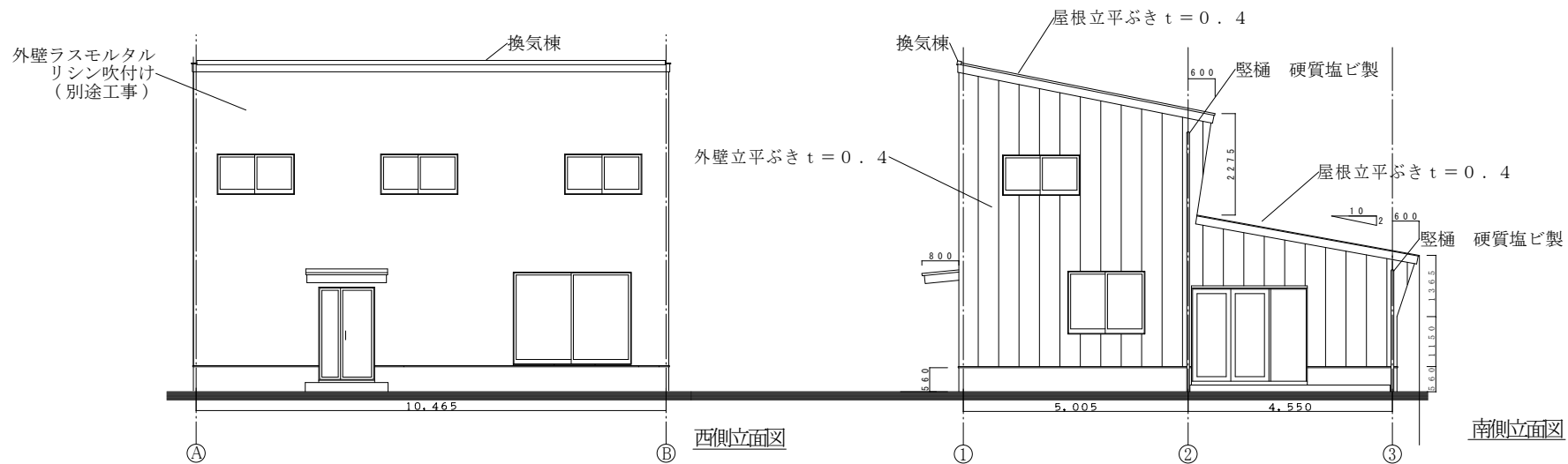
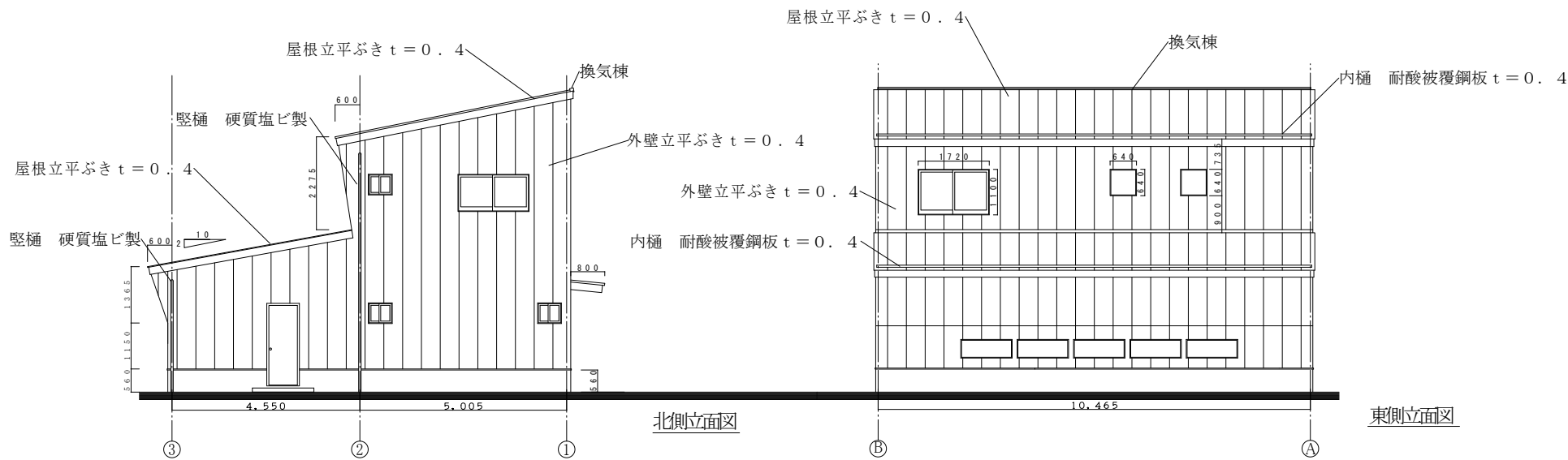
- ・外壁出隅部の納め方 (板金×板金、板金×ラスモルタル壁)
- ・屋根軒先の納め方
- ・換気棟部の納め方
- ・外壁斜部のサッシの納め方
- ・土台水切部の納め方
- ・外壁腰折れ部の納め方
- ・内樋の納め方
- ・入口庇部の納め方
- ・雨押え取合いの納め方
- ・その他必要と思われる個所の詳細

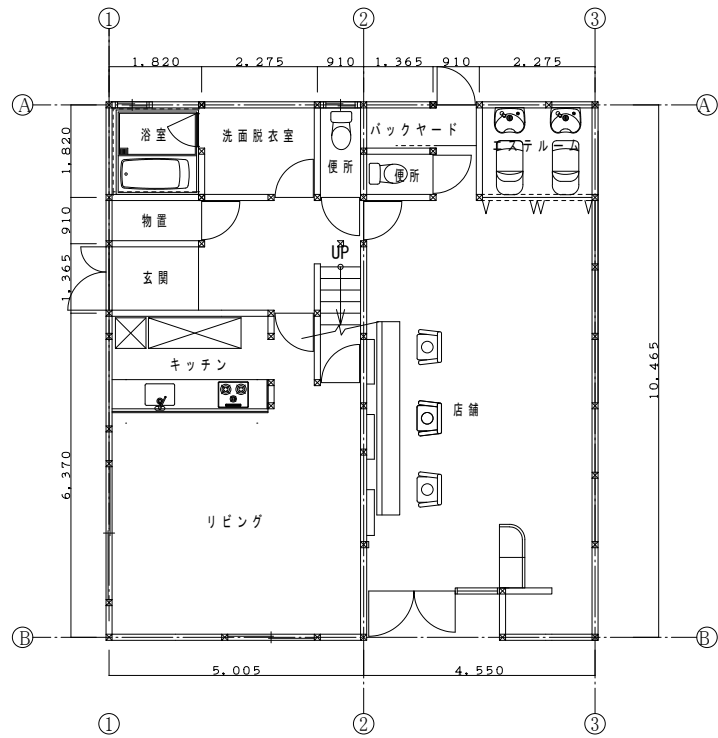
※提出図面の1枚目、2枚目に自由にレイアウトして下さい。

## 条 件

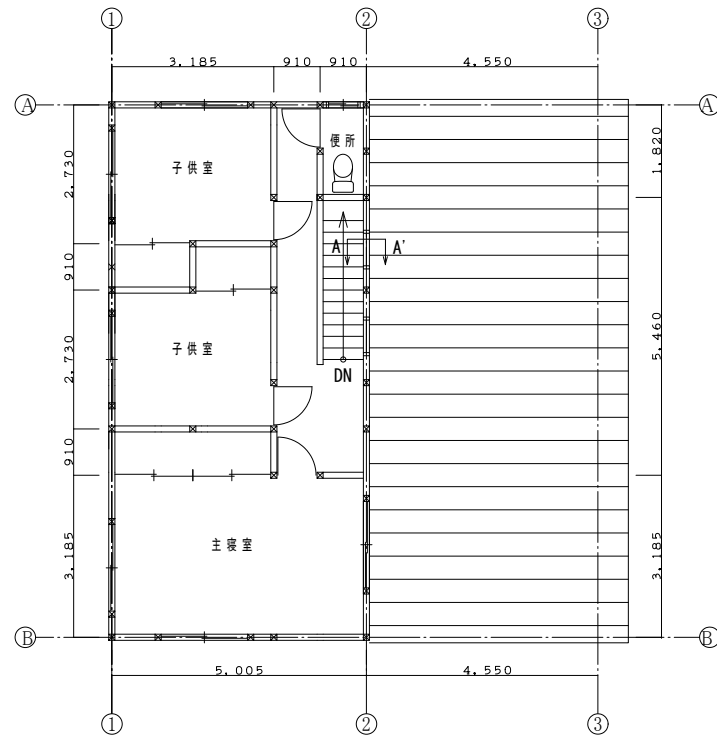
- ・ 施工図面①・②の作成については、工務店が下地の施工をしますので下地の提案も含めて描いてください。  
但し、色付けは禁止とします。
- ・ 納まりについては、技術提案も含め実際に自分が施工する内容の納まりにしてください。
- ・ 製図の基本を知るという観点から、線の種類、寸法の描き方について製図総則(JIS Z 8310)並びに建築製図通則(JIS A 0150)に基づいて正しい施工図を作成していただきます。
- ・ 工事完了後は、(株)全日本建築板金保証センターの保証書を発行していただきます。
- ・ 各所納まり部の技法また寸法については、『建築板金施工法—金属屋根施工篇—』に基づいて図面を作成して下さい。





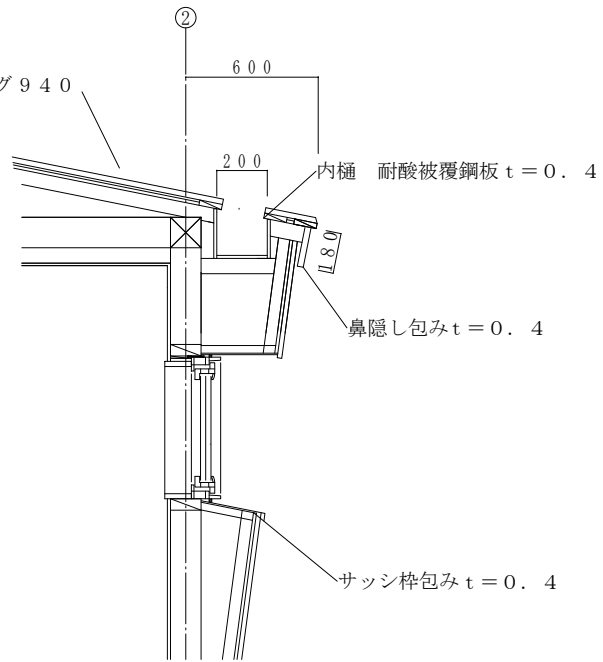


1F平面図



2F平面図

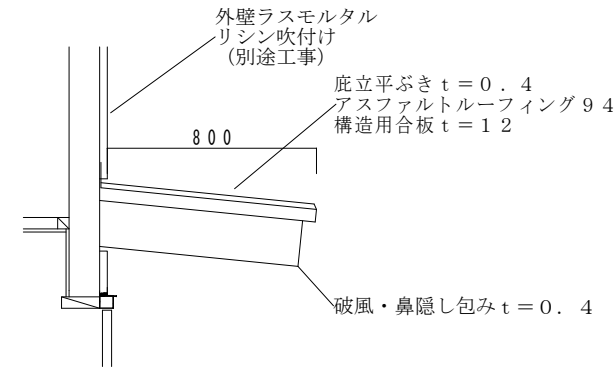
屋根立平ぶき  $t = 0.4$   
アスファルトルーフィング 940  
構造用合板  $t = 12$



軒先及びサッシ開口部

外壁ラスモルタル  
リシン吹付け  
(別途工事)

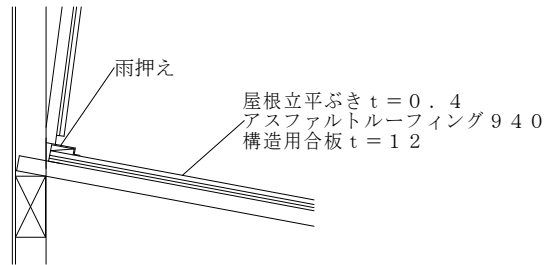
底立平ぶき  $t = 0.4$   
アスファルトルーフィング 940  
構造用合板  $t = 12$



庇屋根部

雨押え

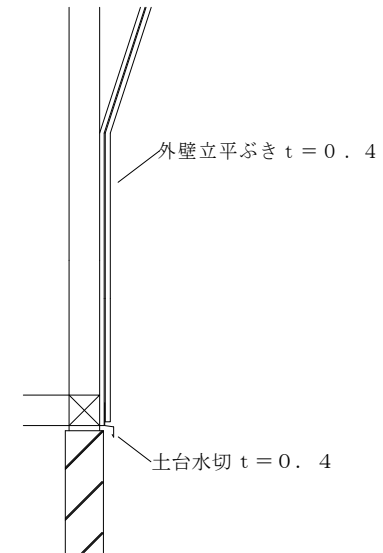
屋根立平ぶき  $t = 0.4$   
アスファルトルーフィング 940  
構造用合板  $t = 12$



雨押え部

外壁立平ぶき  $t = 0.4$

土台水切  $t = 0.4$



土台水切部